

みずほCustomer Desk Report 2018/12/11号(As of 2018/12/10)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.60
TKY 9:00AM	112.52	1.1400	128.30	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	113.37	1.1442	128.92	1.2721	0.7183
SYD-NY Low	112.25	1.1351	128.13	1.2758	0.7227
NY 5:00 PM	113.31	1.1355	128.75	1.2507	0.7170
NY Dow	24,423.26	34.31	日本2年債	-0.1500	▲1.00bp
NASDAQ	7,020.52	51.27	日本10年債	0.0400	▲1.00bp
S&P	2,637.72	4.64	米国2年債	2.73	1.43
日経平均	21,219.50	▲459.18	米国5年債	2.72	1.67
TOPIX	1,589.81	▲30.64	米国10年債	2.86	0.53
シカゴ日経先物	21,320	▲20	独10年債	0.2435	▲0.60bp
ロンドンFT	6,721.54	▲56.57	英10年債	1.1965	▲6.80bp
DAX	10,622.07	▲166.02	豪10年債	2.4265	▲3.45bp
ハンセン指数	25,752.38	▲311.38	USDJPY 1M Vol	6.33	0.08%
上海総合	2,584.58	▲21.31	USDJPY 3M Vol	6.94	▲0.01%
NY金	1,249.40	▲3.20	USDJPY 6M Vol	7.39	▲0.06%
WTI	51.00	▲1.61	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	181.65	▲2.50	EURJPY 3M Vol	8.51	0.00%
ドルインデックス	97.21	0.69	EURJPY 6M Vol	8.92	▲0.04%

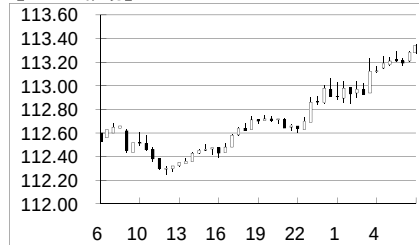
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月10日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	3Q -0.6%	-0.5%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	3Q -2.5%	-2.0%
	08:50	日 GDP(年率/前期比)・確報	3Q -0.3%	-0.3%
	18:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 -0.6%/-0.8%	0.1%/-0.1%
	18:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	10月 -0.9%/-1%	0%/0%

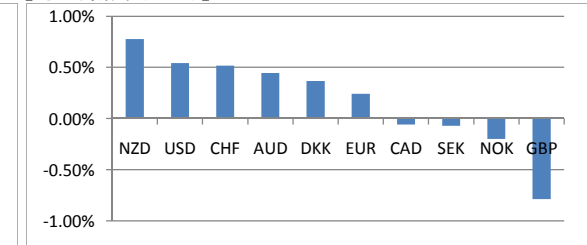
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月11日	09:30	豪 住宅価格指数(前期比/前年比)	3Q -1.6%/-2%	-0.7%/-0.6%
	19:00	独 ZEW調査現状指数	12月 55	58.2
	19:00	独 ZEW景気期待指数	12月 -25	-24.1
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	11月 0%/2.5%	0.6%/2.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.70-113.70	1.1300-1.1400	127.70-129.20

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間でドル円は上昇。欧州時間、Brexit合意案議会採決中止との報道を受けて対ポンドを中心にドル買いが優勢となると、ドル円は112円台半ばから112.70台までじり高。北米時間に入り、日米株式先物相場の反発等を受けて前週末高値112.93円を抜けると、113円ちょうど絡みでは短期筋のストップロス巻き込みながら、一時、113.37円まで上伸した。本日のドル円は、方向感の出ない展開を予想する。昨日のドル円上昇はポンド安に起因したドル買いの結果であり、114円に向かって続伸するには材料不足が否めない。昨日、米株が前日比プラス圏でクローズしていることから、本日の日経平均も反発が予想され、ドル円はサポートされそうだが、積極的に上値を追う展開は見込みにくい。

東京	ドル円は112.61レベルで取引を開始。先週金曜の米雇用統計が市場予想を下回る結果となったことを受けたドル安の流れを引き継ぎ上値重く推移。日経平均も先週末対比下落して取引を開始したことも重石となり112.25まで下落。しかしながら、直近安値圏となる112円台前半では底堅く、日経平均も後場にかけては堅調に推移したことを受けて下落幅を縮小し、112.43レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、終始上昇基調で推移。112.43レベルでオープン後、堅調に推移し一時112.75まで上昇し112.69レベルでNYに渡った。ユーロは、1.1438レベルでオープン。英国の離脱案可決延期のヘッドランを受けて売り進まれ軟調に推移し、1.1402まで低下した。ポンドは、1.2749レベルでオープン。英10月の鉱工業生産指数が市場予想対比大きく下振れた事や11日に控えた離脱案の下院可決が延期された事を受け1.2637まで下落した。その後も上値重たく推移し1.2658レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、先週末比大幅反落した日経平均株価に圧迫され、一時112.25まで下落。しかし、先週の安値付近では買い意欲もあったことから112.75まで反発し、112.69レベルでNYオープン。朝方は主要な米経済指標の発表がない中、海外市場の流れを引き継ぎ上昇し、113円台を回復。その後、メイ英首相が11日予定のEU離脱案に関する英議会採決を延期すると表明し、ポンドに対するドル買いがドル円にも波及し、113.23まで上昇。午後は一時500ドル超下落していたダウ平均がプラス圏に回復する動きにつれて、高値113.37までじりじり上昇。終盤は高値圏で方向感なく推移し、113.31レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、「イタリアの財政赤字目標について、コンテ伊首相はGDP比2.0%、トリア伊財務相はGDP比1.9%でEUと合意を目指す」との一部報道にイタリア予算案の合意観測が強まったこと等から、先週末の高値1.1424を抜け、1.1442まで上昇。その後上昇が一服し、1.1424でNYオープン。午前はメイ英首相の採決中止表明を受けて、ポンドドルの急落に連れ安となり、1.1365まで下落。1.1377まで戻す場面も見られたが、メイ首相の発表を受けて合意なきブレグジットへの懸念が強まる中、上値は重く、反落。安値1.1351まで下落し、結局1.1355レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:山本・綱島